

2 県内中学校における「環境教育全体計画」の例

平成〇〇年度環境教育全体計画

学校教育目標

自主自立の精神を培い、創造的で心豊かなたくましい人間を育てる

環境教育の方針

- ・自然やいのちを大切にし、思いやりの気持ちを持って行動しよう。
- ・身のまわりの自然や環境に関心を持ち、科学的に解明しよう。
- ・郷土の自然や文化に誇りを持ち、郷土を愛する心を育てよう。
- ・積極的に自然とふれあい、親しもうとする心を育てよう。

推進体制 ・環境学習総括者<校長> ・環境管理責任者<教頭> ・環境学習リーダー<〇〇 〇〇教諭>

環境教育でめざす子どもの姿

よりよい環境を創造するため、生活の中で積極的に実践する生徒

具体的教育活動

<本校で取り組む特色ある環境教育活動>

- ・登録制ボランティアによる、学校周辺の草むしり運動、駅周辺のガム剥がし
- ・パンジーを鉢植えし、冬季間は家庭に持ち帰り育てる「花いっぱい運動」
- ・夏季休業中の奉仕活動として行う地区の公園清掃活動

<各教科等における学習目標>

国語：確かな読解力と科学的に追究する力を育てることにより、環境問題や地域文化への理解を深め、積極的に関わっていかこうとする態度を育てる。

社会：国土や郷土について、・・・・・・・・

総合的な学習の時間：自然環境や社会環境の中から見いだした課題について追求し、解決に向けて主体的に学習を進めることができる能力と態度を育てる。

<日常的・継続的に行う環境保護・保全活動>

<生徒会活動>

- ・整美委員会による毎朝の昇降口前、校舎周辺、校舎前歩道の朝清掃活動
- ・書き損じハガキやペットボトルのキャップの回収

<学校全体>

- ・ミスプリントの回収と再利用（3R推進のために指導）
- ・空き教室の消灯、暖房の消火の徹底（学級の係活動として位置付け、省エネ推進及び安全のために指導）
- ・ごみの分別の徹底（3R推進のために指導）
- ・夏休み奉仕活動（地区班会で行い、地域を愛する心を育てるために指導）

<家庭・地域との連携>

- ・学校だよりを環境教育啓発の中核に据え、家庭における環境教育への理解と関心を高め、連携を深める。
- ・夏休みの奉仕活動で行う地区の公園清掃活動を通して、地域への関心を高めるとともに、環境保全の精神を養う。
- ・町内会と連携し、地域の独居老人宅の除雪作業を行う。

<環境教育活動年間計画>

- 5月：校地周辺の美化活動
- 7・8月：地域の公園清掃活動
- 7・10月：登録制ボランティアによる駅周辺のごみ拾いやガム剥がし
- 10月：花いっぱい運動、校地美化活動
- 12～2月：地域の独居老人宅における除雪ボランティア